

全国地域安全運動

実施期間 10月11日(金)～10月20日(日)

刑法犯の認知件数は、平成15年以降減少していましたが、令和4年からは増加に転じ、昨年も前年の認知件数を大幅に上回りました。

令和5年認知件数 岐阜県下 12,000件(山県署管内170件)

前年比 +2,300件(// +105件)

子どもや女性が被害者となる犯罪が後を絶たず、高齢者を狙った特殊詐欺の被害も深刻な情勢が続くなどしており、犯罪に対する不安感が一層高まっています。

こうした犯罪を防ぎ、地域社会の安全安心を守るために、全国各地で地域の皆さんと警察や防犯ボランティア団体等が連携して様々な防犯活動が実施されていますが、中でも毎年10月11日から20日までの10日間を「全国地域安全運動」として広報啓発に取り組んでいます。

※活動例 ショッピングセンターや公共施設等での防犯啓発活動
警察や防犯ボランティア団体によるパトロール活動

皆様の地域安全運動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



美山駐在所だよ

(0581)

55-2002

山県警察署
美山駐在所



山県警察署
ホームページ
QRコード

シートベルト・チャイルドシートで大切な命を守りましょう



10月は「シートベルト・チャイルドシート着用強調月間」です。

シートベルトやチャイルドシートを着用していれば命を落とすことがなかった交通事故がいまだに発生しており、こうした悲惨な交通事故がなくなるように10月を「シートベルト・チャイルドシート着用強調月間」と定め、全座席のシートベルト着用やチャイルドシートの適正使用について広報活動を推進しています。

運転者は、乗車時に同乗者のシートベルト着用を確認するとともに、同乗者は後部座席であっても必ずシートベルトを着用しましょう。

6歳未満の子どもには、必ずチャイルドシートを着用させるとともに、6歳を過ぎても体格等がシートベルトに合わない場合には、チャイルドシートやジュニアシートを使用して、大切な命を守りましょう。

駐在日誌

山県市の認知症高齢者等見守り事業【どこシル伝言板】が始まりました。

【どこシル伝言板】とは、認知症等で行方不明になった高齢者の衣服や持ち物に貼ってあるQRコードが読み取られるだけで瞬時に保護者へ発見通知メールが届く見守り支援サービスです。発見者はQRコードを読み取った後、更に注意事項や対処方法を確認して発見情報を入力、送信し、チャット形式の伝言板で保護者とやりとりをすることで、迅速に保護者が迎えに行くことができます。

衣服・カバン・杖等の持ち物に、耐洗ラベル・蓄光シールの貼ってある高齢者を見かけた際は、声かけとQRコードの読み取りをお願いします。

※読み取りをするだけで、個人情報送信されることはありません。
発見情報、伝言板への入力やQRコードの読み取りができない場合は、記載の登録番号を山県市役所、もしくは警察へ通報してください。



問合せ先 山県市役所健康介護課 ☎ (0581) 22-6838

読み取ると発見者の手順を確認できます

～防犯機能付き電話機の設置など固定電話対策をしましょう～